

# 『くらし、福祉、教育』を守るため 『唯一の野党』の立場で中田市政と対決

日産党  
共産党

横浜市会の第4回定例会(12月議会)は、市長提出の25議案と議員提出の1議案を可決して12月22日に閉会しました。市長が提出した議案と市民から出された請願・陳情は、市会の8つの常任委員会に分かれて審議されました。日本共産党の6人の議員は、所属する常任委員会で、市民の利益にならない議案については問題点を指摘し、見直しを求めました。また、市民要望を反映した請願の採択にむけて力をつくしました。



荒木由美子議員

### 政策的医療・高度医療 が大きく後退

横浜市は、05年度から市民病院、脳血管医療センター、みなと赤十字病院の病院事業に地方公営企業法を全部適用し、独立採算制で病院を運営します。そのために病院事業を衛生局から分離して「病院経営局」を設置します。目的は、市民病院への一般会計負担11億円の縮減に見られるように、市費投入の大幅削減です。

荒木由美子議員は「公立病院としての使命を放棄し、病院経営局の設置とあいまって収益第一の病院に変えるもの」「市民病院では、高度医療など不採算部門の経費が半減、一般会計負担金が31億円から20億円へと11億円も減らされる」と市長は、地方公営企業法全部適用で安全で質の高い医療が提供できるといいますが、人件費の削減は必至で、優秀な医師、看護師などの確保が困難になり、医療水準の後退は避けられない「鹿児島市など他市では、不採算医療への一般会計負担を増やす例もあり、本市の対応は時代に逆行している」と批判しました。



中島文雄議員

### みなとみらい21地区の土地 売却で125億円の赤字に

4月以降の、みなとみらい21地区の土地売却状況について、中島文雄議員は、簿価割れの実態を追及、平均簿価が112万円/m<sup>2</sup>にもかかわらず、日産には半値の66万5千円で売却するなど、04年に売却できた4つの街区(合計3・6畝)で125億円の赤字が出ていることが明らかになりました。また、同地区の開発進捗率は、総面積

約87畝のうち、暫定利用も含め67%に留まっていることも判明。今後もこのような状況が続けば、単純計算で未処分地26畝の売却によって1000億円に近い簿価割れによる赤字が生じることになります。

また、新横浜島地区区画整理事業で生じた市の「保留地」約5800平方メートルを首都高速道路公団に売却することについては、高速横浜環状道路北線の「換気所」用地として用意した経過を追及、高速道路建設への住民合意が得られていないなか、区画整理事業まで利用して、首都高に協力する姿勢を批判しました。



高野明子議員

### 市営住宅家賃滞納対策の変更 は、説明責任を果たすこと

横浜市日産条例の一部改正は、性同一性障害者の人権を配慮し、印鑑登録原票に男女の別を登録しないこととするもので、市民要望にこたえたものです。横浜ボランティア協会と横浜市青少年科学普及協会が解散し、新たな団体が設立されました。「ボランティア協会の解散は苦渋の決断」と理事長に言われつつも、強引な解散であり、新たな団体づくりは協働の名による市諸事業の肩代わりをするもので、青少年自身が社会とつながるための、また、青少年育成に関するボランティア活動を進めてきた30年の歴史をさらに発展させることは出来ません。

市は、市営住宅家賃の滞納者にたいする徴収を強化し、裁判所へ即決和解申し立ての要件を滞納7ヶ月、または滞納金額20万円と提案。それに対して「滞納者はさまざまな困難を抱えている人が多い、居住者への説明は文書配布だけで済ますことなく、住民と顔を合わせて丁寧な説明を」と要望。建築局長は「そのようにする」と答弁しました。



大貫憲夫議員

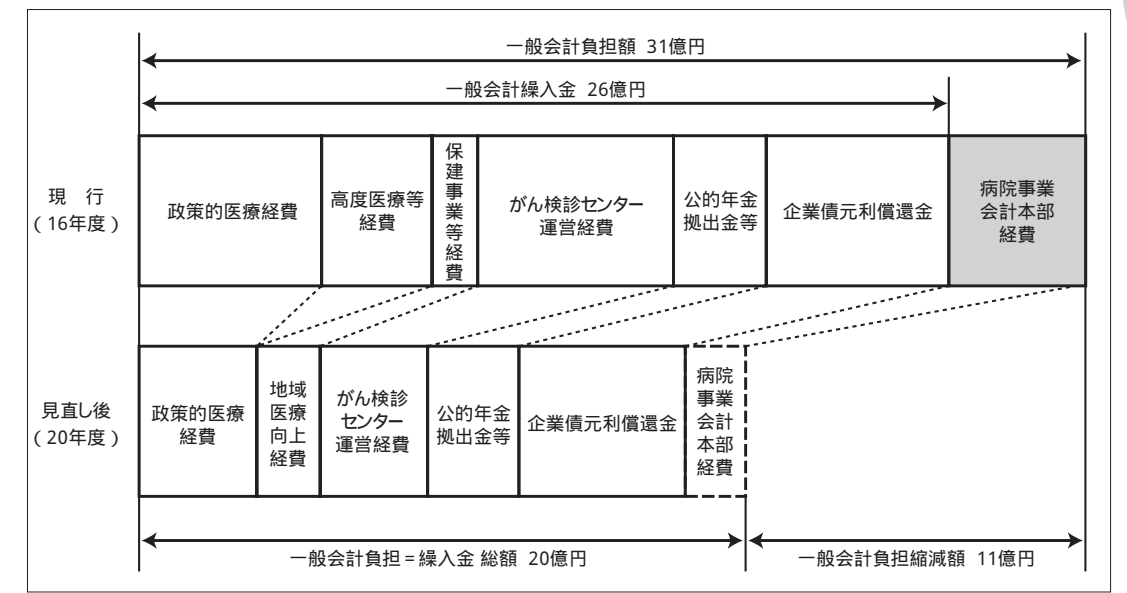
### 市役所の機能強化をめざ にした、市民不在の局再編

大貫憲夫議員は、34年ぶりの今回の大幅な局再編は、これまでの局のもつている問題点や制度疲労など総括がされていないこと、市民への周知徹底や意見聴取が具体的にされていないこと、何よりも住民の身近な区があり方が明確にされないままであることなど、再編成の手順や基本の点で市民軽視でトップダウンによる押しつけと批判しました。

区役所問題では、不良業者による宅地開発や、マンション建設紛争などでは、身近な区役所では責任のある対応が得られず、わざわざ区内の市庁舎まで足を運ばなければならぬ実態は何も変わらないとし、住民が求めているのは自治権のある区であり、区役所を基本において、その上に本庁の機能を構築する必要があると指摘しました。

また、都市整備局の狙いは、際限のない都市間競争に勝ち抜く都市整備戦略であり、小泉構造改革のすすめる都市再生大型プロジェクトを本市で推進するための担当局として再編強化したものと厳しく批判しました。

## 市民病院(神奈川区)の救急医療、感染症対策 これで大丈夫といえるのでしょうか = 横浜市立病院経営改革計画(中間案)より =



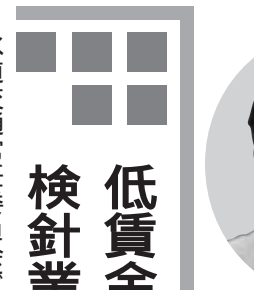
柴田豊勝議員

### 低賃金での水道メーター 検針業務を野放しにするな

水道交通常任委員会では、水道メーター検針業務民間委託に係る議案を審議。05年度に南、金沢、都築の3区を民間業者に委託するもの。03年1月から一部で民間業者に委託され、請負業者側の不手際から業務の遅れが生じるなど混乱が起き、問題になりました。市は、この教訓

から契約期間を1年間から3年間にするなど改善をはかって入札を行いました。

柴田豊勝議員は、異常に低い入札は排除したというが、実際は賃金単価が1時間あたり約1000円程度であり、社会保険への加入を「お願い」しているとしても担保にはならない「契約期間を3年間にしたことは雇用延長となり、評価できるが、市民の安心や労働条件などの改善が十分はかられたとはいえない」と批判。議案に反対しました。



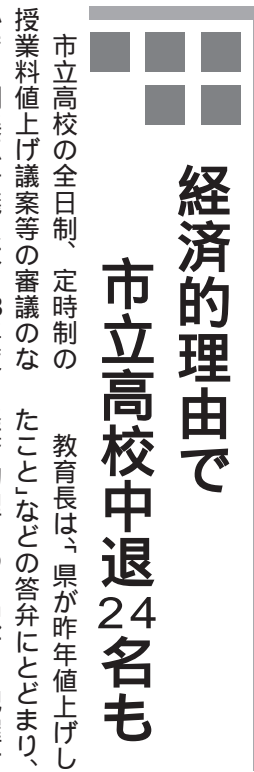
関 美恵子議員

### 経済的理由で 市立高校中退24名も

市立高校の全日制、定時制の授業料値上げ議案等の審議のなかで、関美恵子議員は、03年度の高校中退者のうち経済的理由が24名になること、3ヶ月以上の授業料滞納者が、143人以上なることを明らかにさせ、新聞でも報道された私立高校の状況にも匹敵する深刻な事態だ」と当局の見解をたどりました。

定時制の横浜工業高校と港高校の廃止について関議員は「さまざまな事情をかかえる子どもや全日制中退者受け入れのためにも、また今年度入試の混乱をくりかえさないためにも廃止するな」と主張、廃止案に反対しました。

教育長は、県が昨年値上げしたことなどの答弁にとどまり、経済的理由の内訳すら把握せず、生徒の学習を奪っている事態への認識が弱いことを示しました。関議員は、一昨年に続く値上げで負担がさらに強まっていると批判し、値上げ案に反対しました。



### 横浜市が05年度に実施する局再編

横浜市はその目的を「行政サービスに対する市民満足度のいっそうの向上を目指し、簡素で効率的な執行体制を確立するために行うものです」としています。



南区区民団体連絡会(10団体)が南区長に33項目の要望を提出しました。交渉に同席してあいさつと激励を行う荒木由美子議員



高速横浜環状道路の開通街路予定地にある縄文時代の貝塚の学術調査を求めて教育委員会に申し入れする柴田豊勝議員

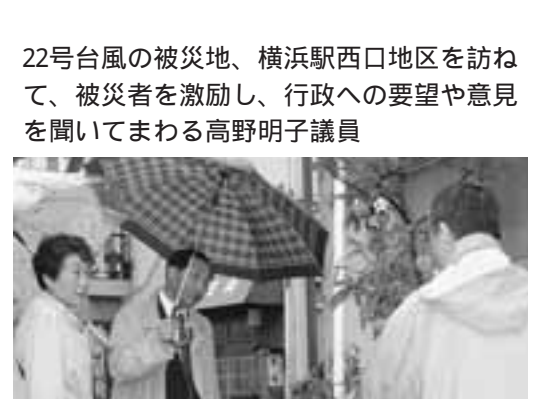


住民から寄せられた要望を住民と一緒になって区役所、土木事務所に持ち寄り、実現にむけて交渉する中島文雄議員

市民とともに  
最近の活動から



給食異物混入事故が続出。根岸小学校の保護者が要望書を教育委員会に提出。中家治子前議員とともに同席する関美恵子議員



22号台風の被災地、横浜駅西口地区を訪ねて、被災者を激励し、行政への要望や意見を聞いてまわる高野明子議員



12月12日座間市で開かれたキャンプ座間に米陸軍第一軍団司令部移転に反対する集会に参加し、デモに出発する大貫憲夫議員